



鹿児島東高校・高等特別支援学校図書館だより

とうてんびより 東天日和

令和3年11月号

発行：鹿児島東高等学校

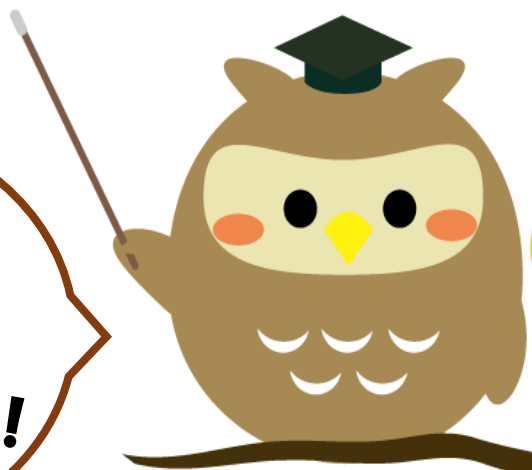
高等特別支援学校合同図書館

10月27日～11月9日は
読書週間



先生たちの
おすすめ本
紹介！

読書週間は
1人5冊
貸出できます！



読書週間を機に、鹿児島東高校の先生たちが生徒の皆さんに読んでほしい本を紹介します！是非図書館に来て手に取ってみてください。

先生たちが上半期に読んだ本

52ヘルツのクジラたち	町田そのこ	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ
推し、燃ゆ	宇佐見りん	西洋菓子店プティ・フル	千早茜
三匹のおっさん	有川ひろ	スモールワールズ	一穂ミチ
少年と犬	馳星周	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ
つるかめ助産院	小川糸	百姓貴族	荒川弘
鹿の王 上下	上橋菜穂子	銀の匙	荒川弘
朝が来る	辻村深月	ここは今から倫理です。	天瀬シオリ

etc.



休館日のお知らせ：

11月26日(金)は司書不在の為休館します。

地歴公民科：窪田裕記先生のおすすめ本

『フェルマーの最終定理』

サイモン・シン／著 新潮社／発行

「フェルマーの最終定理」は、世界一有名な数学の問題とされる。よく知られているピタゴラスの定理とは似て非なるもので、「 n が2より大きいとき、 $x^n+y^n=z^n$ は、整数解を持たない」ことを証明せよ。

という、17世紀の数学者フェルマーが考案した問題だ。

詳しい話は分からないが、この本がとてつもなく面白いのは、この問題が20世紀にワイルズという天才数学者に解かれるまでに、300年の数学者たちの苦悶のドラマがあるからだ。

本書冒頭から数学の歴史。ピタゴラス教団。ゼロの概念。

友愛数（ペアになった2つの数で、一方の数が他方の数の約数の和になるもの）の話。220と284がその例で、愛を育む数字とされお守りになったとか。

オイラーは神の存在を数学的に証明してみせた！

フランスの女性学者ジェルマンの話（当時女の頭では数学は理解出来ないとされていた）。

日本人も関わっている。谷山豊と志村五郎だ。「谷山・志村予想」の証明が、「フェルマー」解決のキーになっているらしい。

最近、マンガ大賞2021で第2位を取得した、魚豊著『千。地球の運動について』（小学館）は地動説の研究に命を捧げる物語だったが、それと共通する、世界の数学者たちがたすきをつないで、真理を追究していく壮大なドラマとなっている。

国語科：川上祥子先生のおすすめ本

① 『ポストコロナ期を生きるきみたちへ』

内田樹／編著 晶文社／発行

近日入荷!

2020年11月に発行された本で、まだ確たるワクチンも製造されていない頃に、5つ世代20名の識者からの伝えたいメッセージを集めた本。

たった1年前なのに、遠い過去のように思える部分や、もう1年前から今の状況を見据えていたのでは?と思えるメッセージがもり沢山の1冊です。

世界中の外部からの情報だけに翻弄されるのではなく、その情報をどのような視点で上手に扱っていくのか?を考えてほしい、そして次の時代を担ってほしいという想いが、中高生に向けて書かれています。

② 『永遠をさがしに』

原田マハ／著 河出書房新社／発行

あなたたちと同じ高校生だけど、家庭環境はなかなか深〜い主人公・和音(わおん)の家族・音楽への想いを再構築していくお話。

淡い恋もあり、友情もあり、読者をひきこむ原田マハさんの表現力もあり、読書の秋にぴったりの本です。

国語科：前原功治先生のおすすめ本

『おそろし〜三島屋変調百物語事始』

宮部みゆき／著 KADOKAWA／発行

江戸を舞台とした、いわゆる怪談物。

三島屋の若い娘・「おちか」を訪れる人々が様々な不思議な話を語っていきます。

あまり怖くない怪談集です。

シリーズものですので、興味がある人はチャレンジしてみてください。

ちなみに私もまだ途中までしか読んでいません。

司書のおすすめ本

『死にたがりの君に贈る物語』

綾崎隼／著 ポプラ社／発行

人気シリーズの完結目前に死んだ作家・ミマサカリオリ。

小説の大ファンだった16歳の少女・純恋(すみれ)は、ショックで後追い自殺をしてしまう。

幸い一命を取り留めたものの、「完結編が読めないのなら生きていても意味がない」と語る純恋の元に、あるメールが届いて…

作者が死んだ物語の結末を読む方法はあるのか？

七転八倒する展開から目が離せず、気がつけば一気に読み！

最後のページを読んだ時には、思わず涙ぐんでしまいました。

物語を必要としている人全てに贈る、痛切な青春ミステリです。